



人・街・未来へ

いずみテクノス株式会社

本社:東京都杉並区上荻2-19-17
TEL.03-5335-7601 FAX.03-5335-7611
<https://www.izumitechnos.co.jp/>



人・街・未来へ

いずみテクノス株式会社

IZUMI TECHNOS

CORPORATE PROFILE

会社案内

“クオリティ・オブ・ライフ” 向上は水環境から

健やかで快適な皆様のクオリティ・オブ・ライフを支えること。

大切な建物の資産価値を守ること。そして、サステナブルな社会の実現に貢献すること――。

私たちいずみテクノスはこれらの使命を胸に、ビル・マンションにおける給排水管の調査・診断から、

その更生工事、更新工事、建築設備の施工業務までをトータルに担う、総合設備企業です。

住宅設備の総合商社 株式会社小泉を中心とする小泉グループの一員として、

いずみテクノスは40年を超える実績が息づく施工品質と信頼を背景に、

国内トップクラス※の施工実績を誇ります。

皆様の日々の快適な暮らしを持続させるためには、適切な管理・メンテナンスが必要です。

お客様の声や想いにしっかり寄り添い、高度なプロの技術と万全なサービス体制で、

お客様が懸念する水環境の課題を理想的解決に導いてまいります。

※マンション、集合住宅のリニューアル工事に関する実績（民間・官公庁）において。自社調べ。

IZUMI TECHNOS

調査・診断

給水管更生

いずみテクノス 4つの事業

いずみテクノスはビル、マンションの給排水管更生・更新工事を基軸に、
設備事業を広く展開するエキスパート集団です。



排水管更生

給・排水管更新



調査・診断

配管設備の老朽化は目では確認できない内部で着実に進行し、漏水やつまりなどを引き起こす原因となります。人が身体の異常を調べる場合と同じように、配管にも「健康診断」が不可欠です。

いずみテクノスでは配管の種類、敷設状況により調査方法の提案を行います。また、調査結果を基に改修提案を行うことで一貫したサービスを通じた配管設備の適切な管理や長期修繕計画の立案をサポートします。

調査・診断方法

① 破壊検査

配管の一部を抜き取り劣化状況を確認します。また、管内に内視鏡やCCDカメラを挿入して管内部の劣化状況を確認します。

② 非破壊検査

配管の抜き取りが困難な場合は、X線検査や超音波肉厚測定を状況に応じて実施することもあります。



給水管更生

マンションやオフィスビルにおける給水管の寿命は、およそ20年～30年。給水管の劣化が進行すると、サビや錆コブが生じ、管の閉塞や赤水の発生の原因になります。さらに老朽化が進めば管が破裂する恐れを招き、取り替えも避けられません。適切なタイミングで更生工事を行うことで、毎日の安心・安全な暮らしが保たれ、給水管の寿命延長にもつながります。いずみテクノスでは、画期的な「M・R工法」を用いて、給水管の更生を実現します。

信頼性と短工期を兼ね備えた特許工法 M・R(モバイル・リボン)工法

乾燥の早い特殊な塗料を使用することで、従来約3日を要していた給水管更生工事をわずか1日に短縮する画期的工法です。本工事は、給水管内を往復研磨後、給水管内面に樹脂を塗装するライニング作業と塗膜調整のためのリボン通しを行い、工事が完了します。信頼性の高い給水管更生をきわめて効率的に実現できる配管内面のライニング工法として、特許を取得しています。



排水管更生

3工法の長所を組み合わせた、オリジナルの工法スタイル モバイル・ハイブリッド工法II

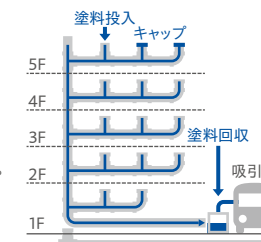
「モバイル・ハイブリッド工法II」は、施工箇所に応じて最適化された工法を組み合わせることで、老朽化した排水管を交換することなく効率的に再生を図る工法です。

ビル・マンションの大切な生活インフラである排水管の更生を短工期・低コスト・高品質に実現し、将来にわたって快適・安心な住環境を提供します。



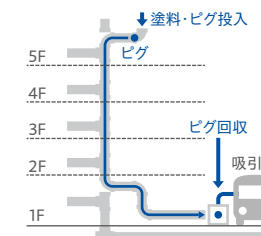
専用部 吸引工法

- ① 高圧ジェット水により管内を洗浄。
- ② 研磨剤を共用部立管に近い排水口から1口ずつ吸引。
- ③ サビ・付着物、研磨材は共用管へ仮設配管を通じて吸引車で回収。
- ④ 各排水口より1口ずつ塗料を吸引してライニング。



共用部立管 吸引ビグ工法

- ① 高圧ジェット水及び高回転ローラーで管内を下地処理。
- ② 吸引気流で研磨材を吸引し、サビや付着物を排除。
- ③ 研磨度を検査後、最上階から塗料を吸引ライニング。
- ④ ビグで立管を塗膜調整。ビグ回収機で回収し完了。



共用部横主管 リノベライナー工法 ～積水化学工業株式会社と共同開発～

雑排水・汚水が集中する共用部横主管の改修には、画期的な新工法「リノベライナー工法」を採用。積水化学との共同開発で誕生した「形状記憶型硬質塩ビ管」が排水管内部に密着し、耐久性に優れた新しい層を形成します。埋設部分を掘り返す開削工事が不要になるため、環境に配慮しながら工期とコストの抑制に貢献します。





KOIZUMI GROUP Information

いずみテクノ株式会社は、住宅設備の総合商社として70年以上の歴史を誇る株式会社小泉(本社:東京都杉並区)を中心とする小泉グループの一員です。

国内グループ企業

小泉グループは住宅設備の総合商社として、関東地方を中心に地域密着型のサービスネットワークを展開しています。100カ所を超える営業所、プロ職人向け店舗「プロストック」に加え、多種多様な国内関連会社とのスケールメリットを活かし、お客様のニーズにお応えしています。

給・排水管更新

建物のライフラインとも言える給・排水管は普段あまり目にすることはありませんが、生活に欠かすことはできません。マンションの資産価値を向上させるには、建物の状況に応じた給・排水管の更新工事が必要です。いずみテクノスは、お客様の目線に立ち、長年の経験と高度な技術を活かして、給・排水管の更新工事の提案から施工までを行います。また、工事にあたっては住民の方々の暮らしへの影響を最小限に抑えるスケジュールづくりや騒音・振動対策を徹底し、安心・安全な作業に努めています。

給水管更新工事

お部屋に水を供給する給水管は、経年により腐食・劣化が進みます。給水管の更新は、末永く安心できる暮らしの実現だけでなく、建物の資産価値向上にもつながります。

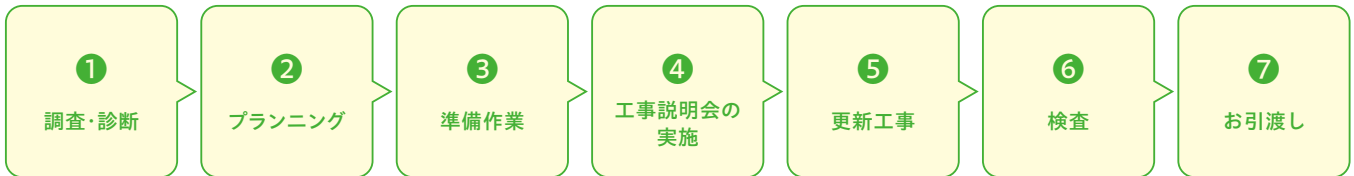
排水管更新工事

台所やお風呂、トイレ等を正常に機能させるうえで欠かせない排水管。更新工事を実施することで排水不良や漏水、異臭などの問題を解消できます。

直結給水方式変更工事

受水槽・高架水槽を介さず、水道本管から直接それぞれのお部屋に水を供給する直結給水方式への変更を行います。建物の規模・階高によっては増圧給水ポンプの設置が必要です。

給水管更新の基本工程



排水管更新 工事例

建物へのダメージを極力抑えた更新工事により、資産価値を高め安全で快適な給・排水環境を整えます。



洗濯機・洗面化粧台を撤去



施工中
既設排水管



施工中
ビニル管に更新



施工後
床クッションフロア貼り

グローバル展開

小泉グループは日本国内にとどまらず、海外においても幅広い事業を展開しています。

